2018年度の事業報告書

2018年　9月　1日から　2019年　8月　31日まで

特定非営利活動法人　うつくしい京都

１　事業の成果

・以下の事業を実施した。

２　事業の実施に関する事項

(1)　特定非営利活動に係る事業

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事 業 名  (定款に記載した事業) | 具体的な事業内容 | (A)当該事業の  実施日時  (B)当該事業の実施場所  (C)従事者の人数 | (D)受益対象者の範囲  (E)人数 |
| ①情報交流啓発事業 | ホームページ、Email（ﾒｰﾘﾝｸﾞﾘｽﾄ等）、およびFacebookを通じ、各事業の発信、会員相互の情報交流  ホームページをリニューアルし、発信力を向上させた。 | (A) 9月1日から随時行った。  (B) 委託先の事務所  (C) 1人 | (D)ホームページ閲覧者  (E)不特定多数 |
| ①情報交流啓発事業 | 一五（イチゴサロン）として、会員と非会員の参加者が共に、京都の暮らしの文化について意見交換や情報交流を図った。 | (A) 7月1日、10月26日に行った。  (B) 京都生活工藝館・無名舎  (C) 4人 | (D)会員及び一般参加者  (E)累計30名 |
| ②京都の暮らし文化研究事業 | 京都の生活文化を学び、これからの京都を考える場として連続講座『吉田塾2018』及び『吉田塾2019を開講した。また付随して懇親会を開催した。 | 1. 吉田塾2018の第3回（9月16日）、第4回（11月11日）、第5回（1月13日）を実施した。吉田塾2019の第1回（5月19日）、第2回（6月16日）、第3回 (7月20日)を実施した。   (B)京都生活工藝館・無名舎  (C)10人 | (D)会員及び一般参加者  (E)累計90  名 |
| ②京都の暮らし文化研究事業 | 公益財団法人京都地域創造基金事業指定助成プログラム助成事業による京都生活工藝館無名舎・吉田家保全・活用プロジェクトの一環として、祇園祭後祭における京都生活工藝館・無名舎屏風祭り実施のサポート業務を行った。 | (A)7月20日から24日にかけて行った  (B) 京都生活工藝館・無名舎  (C)10名 | (D)会員及び一般参加者  (E)不特定多数 |
| ②京都の暮らし文化研究事業 | 公益財団法人京都地域創造基金事業指定助成プログラム助成事業による京都生活工藝館無名舎・吉田家保全・活用プロジェクトの一環として、京都生活工藝館の建具替えを実施した。 | (A)10月10日および6月16日に行った。  (B)京都生活工藝館・無名舎  (C)8名 | (D) )一般見学者  (E)不特定多数 |
| ②京都の暮らし文化研究事業 | 京町家で楽しむ「音楽夜会（チェロを聴く会）」を実施した。 | (A)9月28日に行った。  (B) 京都生活工藝館・無名舎  (C)5名 | (D)会員及び一般参加者  (E)16名 |
| ②京都の暮らし文化研究事業 | 公益財団法人京都地域創造基金事業指定助成プログラム助成事業による京都生活工藝館無名舎・吉田家保全・活用プロジェクトの一環として、京都生活工藝館・無名舎の見学者受付・案内事業を実施した。 | (A)インターネットによる見学受付は随時実施した。  (B) インターネットおよび京都生活工藝館・無名舎  (C)2名 | (D) 一般参加者  (E) 累計60名 |
| ②京都の暮らし文化研究事業 | 公益財団法人京都地域創造基金事業指定助成プログラム助成事業による京都生活工藝館無名舎・吉田家保全・活用プロジェクトの一環として、祇園祭の夕べを実施した。 | (A)7月21日に行った。  (B)京都生活工藝館・無名舎  (C)8名 | (D)一般参加者  (E)20名 |